

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 26 日 更新

事務事業名		ホームページ管理・運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	2	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	鬼塚 咲
	施策の柱	5	広聴・広報機能の充実			所属班	企画広報班	(内線)	1255
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 2	事業連番 11042	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市の情報を求める合志市民をはじめとする全ての人に対し、市が行っている情報を分かりやすく手軽に市政を伝えるため、「合志市ホームページ」に掲載する事業である。 IT (information technology (情報技術)) の普及に伴うインターネットの普及により、平成13年4月1日から旧合志町で、平成14年3月27日から旧合志町でホームページを開設し、合併により平成18年2月27日から合志市ホームページとして運営が始まった。 合志市ホームページでは、JIS規格に基づき、旧町ホームページと比べ文字を大きくするなどし、より利用しやすいようにした。 更に、平成22年2月26日からは、市の子育てに関する情報を集約した「子育てサイト」を設置。併せて、動画サイトである youtube「合志市チャンネル」開設し、動画でも市のPRが出来るようにした。 また、平成23年11月には、市を積極的にPRすることを目的に、来訪者に興味を持たせるようカテゴリの充実やツイッター開設などを行った。 平成31年2月にCMSを大幅に変更しさらなるWebアクセシビリティへの対応として、文字の大きさや背景色、翻訳機能などの対応も行い高齢者や障がい者にも使いやすいようにし、動画を埋め込むなど多方面から市のPRができるようホームページのトップ画面のリニューアルを図ってきた。 令和3年度からテレビデータ放送「デタボン」の運用を開始。パソコンやスマートフォンを持たない世代にも情報を届けるツールとして活用する。 令和4年度よりシステムを改修し、SNS (twitter、LINE)、デタボンと連携を開始。
【業務の流れ】	●サーバ管理会社との業務契約事務：サーバ借用契約及び保守契約 ●システム管理：トップ画面の変更やシステムの変更や不具合等が発生した場合の業者との連絡調整 ●情報の更新：情報の更新、入力については各課対応であるが、入力された記事に問題はないかの確認 ●ページ管理：「よくある質問」などへの投稿について、内容により担当課へ転送するなどの対応。 ●旬の情報などの季節に応じた情報の発信。 ●広告バナーの契約や枠更新
【主な予算費目】	需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動) (DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
ホームページをはじめX (エックス)、テレビデータ放送「デタボン」や動画など、市の情報等の記事の掲載の強化を図った。 ・ホームページアクセス数 (令和4年度613,255件、令和5年度566,602件) ・X (エックス) への投稿数 (令和4年度210件、令和5年度359件) ・X (エックス) のフォロワー数 (令和4年度3,620人、令和5年度3,886人)	積極的な情報発信のため、引き続き各課へ記事掲載を随時お願いするとともにトップ画面でのスライド記事の掲載方法や魅力ある情報発信の方法などを研究し運用していく。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア ホームページの更新件数	件	インターネット回線使用料の変更に伴う通信運搬費の減
→ イ Xからのつぶやき件数	件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	人	→ ア 市民
市に興味を持った市外の人	件	→ イ コンテンツ「観光情報」アクセス件数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
常時最新の市政情報を知ることができる	件	→ ア トラブル件数
市ホームページのアクセス数を増やす	件	→ イ 年間アクセス件数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
だれもが常時最新の市政情報を知ることができるようにするのがこの事業の意図である。達成度として、サーバー等トラブルによりホームページが閲覧できなくなる件数を0件とすること、およびアクセス件数を成果指標とした。		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア 件	1,053	991	2,600	1,321	2,600	2,600	2,600	2,600	
	イ 件	50	210	280	359	280	280	280	280	
② 対象指標	ア 人	63,841	64,453	65,500	64,787	65,311	66,650	68,409	69,457	
	イ 件	21,859	10,325	68,000	22,538	68,000	68,000	68,000	68,000	
③ 成果指標	ア 件	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ 件	406,100	613,255	560,000	566,602	570,000	570,000	570,000	570,000	
投資 事業 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円	1,600						
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	160	198	150	218	150	150	150
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	672	2,007	2,123	1,976	2,063	2,106	2,106
	(A) 事業費計	千円	2,432	2,205	2,273	2,194	2,213	2,256	2,256	2,256
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	7	4	4	4	4	4
	人件費	延べ業務時間	時間	265	1,146	150	505	150	150	150
		(B)人件費計	千円	1,036	4,361	597	1,839	597	597	597
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,468	6,566	2,870	4,033	2,810	2,853	2,853

事務事業名	ホームページ管理・運営事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	---------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 庁内ネットワーク推進員及び広報委員を通じ、各課へ更なる記事更新の働きかけを行った。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 広報紙に掲載されている情報で広く周知が必要な情報は、ホームページ掲載ガイドラインに基づき、各課広報委員にホームページでも併せて情報発信するように依頼していく。トラブルがないように管理運営に努める。 また、旬の話題の提供、動画やX（旧ツイッター）による市のPRを積極的に行なう。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 更新が滞っているコンテンツの更新を促し、最新情報を盛り込むことで結果的に閲覧数の増加につながる。 具体的にはCMSによる記事編集や掲載を簡易化することで、各課からの記事掲載が容易にできるようにする。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 リアルタイムでの情報発信・受信ができなくなるため、市の情報を得ようとする人または市に情報を送ろうとする人は、いつでも・どこでも・だれでもといったサービスの提供を受けることができなくなる。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事業費で行なっており、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 情報は掲載業務担当課で更新しており、業務時間は最小限で行なっているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 だれもがいつでもアクセスできるもので、受益者負担は伴わない。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市として情報を発信するため、当事務事業の移行はできない。

3 評価結果の総括（CHECK）

市内外の人に合志市のことを興味を持ってもらうために、今後も動画やツイッター、こうしの魅力などのコンテンツを活用し、市のPRや旬な話題を定期的・積極的にアップする必要がある。また、ブッシュメールやアプリケーションの構築により登録を促していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							